



12月14日（金）、瀬棚保育所においてもちつき会が行われました。当日は、合同保育で島歌保育所と馬場川保育所のお友達も一緒にもちつきを楽しみました。これは、昔ながらの臼（うす）と杵（きね）を使って、毎年行っているもので、園児たちは、最初にもちつきの歌を歌ってから、慣れない杵を使いながらも「よいっしょ！よいっしょ！」と元気よく声をかけ、もちをつきました。

はじめて経験する園児の中には、見たことのない光景に、とまどったり、泣いてしまう園児もいましたが、楽しいもちつき会となりました。みんなが頑張っていたもちちは、お母さんたちのお手伝いで、きなこもちやお雑煮などにしておいしくいただきました。



編集後記

▼今年は、十二支最初の「ねずみ年」。また、せたな町総合計画スタートの年でもあり、せたな町の新たなまちづくりが始まります。表紙には、1つ1つ色も形もバラバラなビーズが見事な十二支を創り上げるように、1人1人が心を一つにして手と手を取り合って共にせたな町の歴史を築いていけるよう思いを込めました。新年が皆さまにとって笑顔あふれる良い年となりますようご祈念申し上げます。(乾)

▼私の干支「いのしし年」が終わってしまいました。早いものです。さて、新年号の表紙は、今年の干支ねずみを中心に十二支をビーズでつくったものです。これは瀬棚区本町8区在住の斉藤真由美さんにお願いでつくっていただきました。実物はすごくかわいくて、皆さんにカラーでお見せできないのが本当に残念ですが、今年はいいい年になりますように。(洪高)

▼新年号の表紙を飾る、干支「ねずみ」は、すぐに子ねずみが増え成長することから子孫繁栄の意味があるそうです。少子高齢社会の今、将来を担う子供たちの成長を願い、お年寄りの方々を尊び、安心して暮らせるまちづくりを日々精進したいと思いますので、今年も町民の皆様のご協力とご指導、よろしくお願ひします。皆様にとって素晴らしい一年でありますように。(藤谷)

